

『国語総合』↓『古典』教材系列一覽

精選／明解

その他		日記		随筆		物語		説話										
高等学校国語総合(古典編)																		
紀行	和歌	軍記	評論	土佐日記	徒然草	伊勢物語	竹取物語	十訓抄	宇治拾遺物語									
奥の細道(旅立ち・那須野・平泉・立石寺)	万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	平家物語(祇園園精舎・富士川・木曾の最期)	三冊子(師の風雅)／うひ山ぶみ(学びやうの次第)	門出／海賊の恐れ／忘れ貝／帰京	つれづれなるままに／ある人、弓射ることを習ふに／亀山殿の御池に／名を聞くより／九月二十日のころ／花は盛りに	芥川／東下り／筒井筒／さらぬ別れ	かぐや姫の生い立ち／かぐや姫の成長	大江山	児のそら寝／絵仏師良秀									
高等学校古典B(古文編)																		
近世の文学	和歌と連歌	軍記	評論	更級日記	紫式部日記	和泉式部日記	蜻蛉日記	枕草子	徒然草	堤中納言物語	大鏡	源氏物語	伊勢物語	竹取物語	古今説話集	発心集	今物語	
① 近世俳諧／笈の小文／西鶴諸国ばなし(大晦日は合はぬ算用)	① 和歌十六首／水無瀬三吟百韻	① 平家物語(忠度の都落ち・能登殿の最期)	② 古今和歌集仮名序(やまと歌は)／俊頼髓脳(鷹狩りの歌)／無名草子(清少納言・紫式部)／無名抄(深草の里)／毎月抄(心と詞)／正徹物語(二字の違ひ・亡き人恋ふる)／風姿花伝(秘すれば花)／去来抄(行く春を・岩鼻や)／難波土産(虚実皮膜の間)／玉勝間(師の説と違へること多く)／源氏物語玉の小櫛(もののははれ)	① あこがれ／源氏の五十余巻	① 秋のけはひ／和泉式部と清少納言	① 夢よりもはかなき世の中を	① うつろひたる菊／鷹を放つ	① ありがたきもの／すさまじきもの／中納言参り給ひて／雪のいと高う降りたるを ② 木の花は／かたはらいたきもの／二月つごもりごろに／九月ばかり／頭の弁の、職に参り給ひて／殿などのおはしまさでのち／村上の前帝の御時に／宮に初めて参りたるころ／大納言殿参り給ひて／この草子、目に見え心に思ふことを	① あだし野の露消ゆることなく／相模守時頼の母は／家居のつきづきしく／世に語り伝ふること／世に従はん人は	① 虫めづる姫君	① 雲林院の菩提講／花山院の出家／弓争ひ ② 東風吹かば／官耀殿の女御／最後の除目／三舟の才／伊周・隆家／肝試し／道長と詮子／鶯宿梅	① 光源氏の誕生／藤壺の入内／北山の垣間見 ② 高麗人の観相／廃院の怪／藤壺の里下がり／車争ひ／心づくしの秋風／明石の君の苦惱／明石の姫君の入内／女三の宮の降嫁／萩の上露／形見の文／小野の里訪問／夢の浮橋	① かぐや姫の昇天	① 初冠／月やあらぬ／狩りの使ひ／小野の雪／つひにゆく道	① 丹後の国の成合のこと	① 侍従大納言、験者の改請を止むること	① やさし蔵人	古今著聞集 ① 小大進、北野の神助を被ること
										① 1部／ ② 2部								

その他	日記	随筆	物語	説話
紀行 軍記 和歌	土佐日記	枕草子	徒然草	宇治拾遺物語 今昔物語集 竹取物語 伊勢物語
〔精〕奥の細道(旅立ち・平泉・立石寺) 〔精〕平家物語(祇園精舎・〔精〕木曾の最期) 〔精〕萬葉集・〔精〕古今和歌集・〔精〕新古今和歌集	〔精〕門出／〔精〕忘れ貝／〔精〕帰京	〔明〕五月ばかりなどに／〔明〕にくきもの	〔精〕つれづれなるままに／〔精〕ある人、弓射ることを習ふに／〔精〕丹波に出雲という所あり／〔精〕無月のころ／〔明〕公世の二位のせうとに／〔明〕亀山殿の御池に／〔明〕高名の木登り／〔精〕花は盛りに	〔精〕児のそら寝／〔精〕検非違使忠明 〔精〕阿蘇の史 伊曾保物語 〔明〕馬と犬のこと 〔精〕かぐや姫の生い立ち／〔精〕かぐや姫の成長 〔精〕芥川／〔精〕東下り／〔精〕筒井筒

古典A	
古事談	蜂飼いの大臣
十訓抄	笛吹き成方／行成と実方
今昔物語集	絵師と大工／玄象の琵琶／姨母捨山／武士の祭り見物
宇治拾遺物語	百鬼夜行／観音になった男／呪いを知らせた犬／絵仏師の執心／夢を買う／袴垂と保昌／後の千金／応天門炎上／歌詠みの徳
今昔著聞集	義家と宗任／女盗賊／相撲の勝負
発心集	恵心僧都の母

精選古典B	
近世小説	〔2〕西鶴諸国ばなし(大晦日は合はぬ算用)／雨月物語(浅茅が宿)
俳諧と俳文	〔1〕近世俳諧／野ざらし紀行
伝承	〔1〕古事記(倭健の東征)
和歌	〔1〕和歌十六首
軍記	〔1〕平家物語(忠度の都落ち・能登殿の最期)
評論	〔2〕古今和歌集仮名序(やまと歌は)／俊頼髓脳(杏冠折句の歌)／無名草子(文)／無名抄(深草の里)／毎月抄(心と詞)／正徹物語(待つ恋)／風姿花伝(下手は上手の二本)／去来抄(行く春を・岩鼻や)／源氏物語玉の小櫛(もののははれ)
紫式部日記	〔2〕秋のけはひ／和泉式部と清少納言
和泉式部日記	〔2〕夢よりもはかなき世の中を 蜻蛉日記 〔2〕うつろひたる菊／鷹を放つ
建礼門院右京大夫集	〔1〕なべて世のはかなきことを
更級日記	〔1〕あこがれ／源氏の五十余巻
方丈記	〔1〕ゆく河の流れ／養和の飢饉／日野山の閑居
枕草子	〔1〕春はあけぼの／すさまじきもの／中納言参り給ひて／雪のいと高う降りたるを 〔2〕ありがたきもの／木の花は／二月つごもりごろに／大納言参り給ひて
徒然草	〔1〕あだし野の露消ゆる時なく／悲田院の堯蓮上人は／家居のつきづきしく／五月五日、賀茂の競べ馬を／世に従はん人は 〔2〕東風吹かば／都府楼の鐘／最後の除目
大鏡	〔1〕花山院の出家／弓争ひ／雲林院の菩提講 〔2〕三舟の才／肝試し
源氏物語	〔1〕光源氏の誕生「桐壺」／藤壺の入内「桐壺」／北山の垣間見「若紫」 〔2〕廃院の怪「夕顔」／心づくしの秋風「須磨」／明石の君の苦惱「薄雲」／萩の上露「御法」
伊勢物語	〔1〕初冠／月やあらぬ／行く螢／小野の雪／つひにゆく道
竹取物語	〔1〕かぐや姫の昇天 大和物語 〔1〕姨捨
十訓抄	〔1〕博雅の三位と鬼の笛 古今著聞集 〔1〕大江山
宇治拾遺物語	〔1〕小野篁、広才のこと